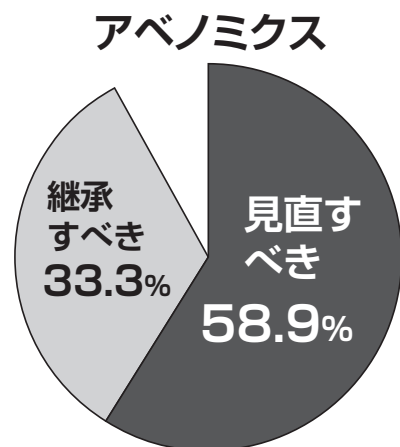
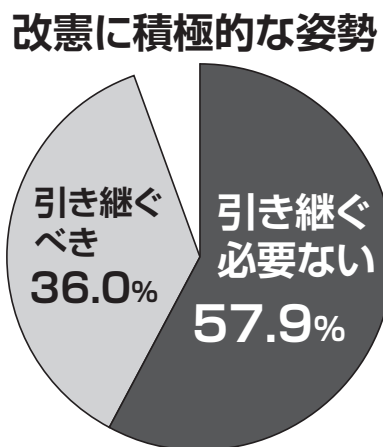


国民の願いは転換



共同通信の10日調査



安倍継承でなく

菅氏は安倍首相の辞任表明後、ひたすら安倍政治の「継承」を訴え続けています。しかし世論調査では「アベノミクス」は見直し、安倍首相の改憲への積極姿勢は「引き継ぐ必要はない」が多数。国民の願いは安倍政治の「継承」でなく転換です。

日本共産党

「新自由主義でなく連帯」

希望ある政治を

「自己責任押し付けの新自由主義か、支え合いと連帯か」。来る総選挙の大争点です。共産・志位委員長と立憲民主・枝野幸男代表は「新自由主義からの転換が共闘の旗印」となることで一致。志位氏は「この旗印を高く掲げ、自公政権に代わる希望ある展望を力強く示そう」と呼びかけています。

菅氏 新たな暴走の危険

発信力なく 軽い言葉



総裁選「圧勝」の菅氏ですが、「発信 独自色薄く」（「毎日」15日）など発信力のなさが指摘され、「自衛隊が憲法で否定されている」との発言を翌日に訂正するなど、国政の根幹での発言のぶれも目立ちます。

コロナ禍で政治の責任放棄



菅氏のめざす社会像は「自助・共助・公助、そして絆」。自己責任を強調していますが、新型コロナ禍で失業・倒産が広がる中で自己責任を説く菅氏に「政治の責任を放棄するのか」との声が上がっています。

疑惑かくし 強権さらに

安倍強権政治を一心同体で支えてきたのが菅氏。公文書の改ざん・隠ぺい、「森友・加計」「桜を見る会」などの「国政私物化」問題では疑惑隠しに徹してきました。官僚による虚偽答弁や「忖度（そんたく）」政治をもた

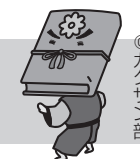
らしたのは、菅氏が主導した内閣人事局の設置。官邸が幹部官僚の人事権を掌握しました。菅氏は政権の決めた政策に反対する幹部は「異動してもらおう」とまで述べました。菅首相で疑惑かくしと強権ぶりが深刻化する危険が。

将来、消費税引き上げ



消費税引き上げについても「将来は否定しない」と増税を示唆しました。安倍政権下での2回にわたる消費税増税が国民の暮らしと日本経済をどん底に落ち込ませたことへの痛みを全く感じないのでしょうか。

憲法破壊、民意無視



安倍氏が固執してきた改憲も、「取り組む」と断言。憲法9条に自衛隊を明記する改憲の主張は安倍氏と同じ。沖縄・辺野古の米軍基地建設も「進めていく」と表明。菅首相で民意無視の政治が加速する恐れ。